

委員会をはじめ、年間を通して活動する組合員を "むすび" ます。活動の紹介、情報発信の場をめざします！

50周年記念地域イベント 多摩いつつ星エリアから

11月27日に開催された多摩いつつ星エリアの講演会は、キッチンスタジオから、「キッチンから世界を見る」と題して料理研究家の枝元なほみさんの料理＆トークを開催しました。オンライン配信されたスタジオの様子をお知らせします。



■「食」や「活動」を伝えたい

料理研究家の枝元なほみさんの講演を聞き、料理をすることは、社会の様々な問題とつながっていることを知ったという実行委員の提案で、地域イベントの講師として枝元さんを招くことになりました。パルシステムの有機栽培「コア・フード」の野菜を使って調理しながら食について知識を深め、コア・フードの野菜を利用するきっかけにしてもらおうと開催しました。

■ 食べることは生きること

開始直前、スタジオに漂う緊張感が枝元さんの掛け声でスッとほぐれ、スタート。開会のあいさつと、有機栽培「コア・フード」、独自基準で栽培した野菜「エコ・チャレンジ」を紹介するチラシ『エコレ』の説明に続き、枝元さんの料理＆トークが始まりました。

食材は、大根、人参、じゃがいも、そして商品力タロゴの有機野菜の中でもお手ごろ価格の若芽ひじきの4品です。まずは大根の煮物作り。「大根1本使い切ろうと思うと大変でしょ。太めの拍子木に切って半日くらい干したら、冷蔵や冷凍すればいつでも使えるし、すぐ味がしみるの」「料理って毎日のことだからプレッシャーだけど、素材がいいとおいしくできる。有機

枝元さん登場前には、「組合員活動って楽しそう、参加してみたい、につなげたい」と、作成した動画を配信。コンセプトは、「エリアの組合員活動の歴史を振り返り、未来へつなげていく」。ペテラン組合員と子育て中の組合員のインタビューや、配送センター、いなざめぐみの里山などを紹介した



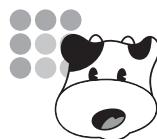
動画では、事前にインタビューした「若芽ひじき」の生産者、寺島農場の寺島さん一家も登場。「若芽ひじきはシャキシャキした食感が特徴。一般的にはひと株で2~3回収穫しますが、私たちは、柔らかく食感のいいものが届けられるよう、1回だけです」とこだわりをアピールするイケメン3兄弟に、ファン続出!



画面の向こうの参加者から届くたくさんの質問にも、ていねいに答える枝元さん。「作り手とつながれる喜びを継続できるということは、すごく大事だと思う。子どもたちにもおいしいと思えるいいのを食べてしまいたい！」と締めくくった



委員会の企画を紹介します



緊急事態宣言が解除となり、開催時間や企画内容が一部緩和され対面企画なども徐々に増えてきました。今回は、10月から11月にかけて開催された委員会企画のうち、一部になりますが紹介します。

戦跡フィールドワーク 旧日立航空機株式会社 変電所見学

明日のケアサポート、平和の種まき委員会

年ごとに風化していく遺構を記憶に刻み、後世に伝えていこうと、毎年、戦跡を巡るフィールドワークを開催。今回は、「旧日立航空機株式会社変電所」を見学。

この変電所は、外壁一面に遺る弾痕が、先の大戦時の空襲の凄まじさを物語る、貴重な戦災建造物です。建物の老朽化による取り壊しの危機を、市民や元従業員の運動で保存され、その後、東大和市の指定文化財に。内部公開に向け改修工事が終了し、見学が可能になりました。「実際に見て、緊迫感と凄さに圧倒された。建物の保存に取り組んだ市民の熱意に感動。平和な未来を残すためにもぜひ多くの人に訪れてほしい」の声が。



講師の東海林さんから、この一帯が軍需工場で、空襲を受けたこと、被弾した給水塔は劣化がひどく保存できなかつたことなどを聞きました

10月27日

自然派おそうじ お役立ち講座

10月29日
暮らしらしさ委員会

環境にも身体にもやさしい石けん・重曹・クエン酸等の特徴を知って使いこなすための学習会。講師はPLA（パルシステム・ライフアシスタント）の佐藤さん。石けんと合成洗剤の違いを学んだあと、初心者がつまずきやすい、石けんカスや黄ばみ問題をクリアする石けん洗濯のコツを聞きました。

後半は自然派洗浄剤「ふわふわ石けん」をみんなで手作り。やかんなどのしつこい油汚れにも、パックして時間をおけばピカピカになる優れものです。

作りながら「重曹やクエン酸の使い方は?」など、参加者から質問が飛び交い、「さっそく試したい」と、自然派おそうじへの関心が高まりました。



「ふわふわ石けんは子どもと作っても楽しいですよ。お風呂場で作れば掃除もできるわね」と佐藤さん

10月29日

防災用品学習会

10月28日

なごみスマイル、渋谷中央委員会

いざという時にならないと、使用する機会のない非常用トイレや防災用品。実際に手に取って実感してみよう、カタログに掲載している防災用品を取り扱う株丸藤の富山さんを講師に学習会を開催しました。

はじめに、在宅時に地震に遭遇した場合の注意点や自宅を安全な場所にするための必需品、避難路の事前の確認、家族での話し合い、水害への対応策や注意点、などの解説がありました。その後、段ボール製の簡易トイレを組み立て、実際に腰かけてみたり、尿を固める薬剤に水を吸わせ、どれくらいの量が固められるかも実験。汚物の臭いや処理の問題などや、進化する防災用品を手に取ることができ、「とても参考になった」の感想が聞かれました。



雨の日、車の運転中に急な増水で車から出られなくなった講師の実体験を聞き、備えの重要性が伝わりました

11月20日

上映とみんなでトーク 「ミツバチからのメッセージ」

エコ・桜委員会

食の安全や環境など、社会の課題を深く知るための「DVD貸し出し」を利用した学習会を開催しました。

上映したのはネオニコチノイド系農薬の危険性を訴えるドキュメンタリー。養蜂家のミツバチの大量死の原因が、この農薬の使用と関連しているのではとの見解から、ヨーロッパでは使用に規制をかける国も。科学者の、「この農薬は動物の神経系に影響を与える可能性がある」や他の生態系への影響も懸念されていることなどの情報が心に響きます。上映後、「どんな農薬が使用されたか、私たちにはわからない。QRコードなどで知ることができたら、選べるのに」など、意見交換がありました。



作品の中で、養蜂家や生産者がネオニコチノイド系農薬について心配の声をあげていました